

「特集ワイド」へご意見、ご感想を tyukan@mainichi.co.jp ファクス 03-3212-0279

特集ワイド



丹羽雄哉元厚相



村上誠一郎元行革担当相

注目の「主役」の姿がとれない。

3月31日、東京・永田町の自民党本部大会議室。議員約160人が参加した勉強会「安全保障法制整備推進本部」(本部長・石破茂幹事長)の初会合で、この日の自衛権の行使を認めるための憲法解釈変更に関する議論が盛況だった。村上行革担当相がいない。出席者の間に静かな驚きがあった。

これまでも特定秘密保護法を「安倍首相の趣味」と切り捨て、憲法解釈変更にも異を唱えてきただけに、この日の会合も村上氏が激しい批判を浴びせる場面が予想されていた。わざわざ「村上氏は欠席した」と報じる新聞もあったほどだ。

「一回でかかって? 決まってるじゃねえか。最初から『行使容認』の八百長会合に何の意味があるんだよ」。村上氏に真意をたたくと思わぬ怒声が返ってきた。

勉強会で講師を務めたのは高村正彦副総裁だ。憲法解釈の変更に向き、この日も「必要な自衛措置」に言及した1959年の最高裁判決(砂川判決)を引きながら「必要最小限度の

タカ派幅きかす安倍政権 だからこそ聞きたい

絶滅危惧種? 自民ハト派の意地

「ハトも鳴かずば撃たれまい」ということか。安倍晋三政権の下、ハト派の存在感が限りなく薄い。集団的自衛権を巡る議論も、限定的行使容認でまともな勢いだ。意見すべきときにしない国会議員は、その義務を果たしていると言えるのか。「絶滅危惧種」と皮肉られるハト派の「意地」を聞きに行った。

【吉井理記】

行使容認は可能だ」と持論を展開。目立った異論は出ず、むしろ高村氏の発言への賛意が相次いだのだ。

勉強会の日、村上氏は8日発売の月刊誌「世界」に掲載されるインタビュー記事の校訂に追われていた。この中で、安倍氏が目指す憲法解釈変更を一政権が代わるたびに解釈が変われば

憲法は空文化し、法治国家として成り立たない」と改めて批判している。「勉強会と違うなら、なぜ解釈変更ハンザイの高村氏を講師にするのか。憲法解釈を考えるなら歴代の内閣法制局長官を呼ぶべき、そのうえで皆で考えよう」というのなら俺も出るさ。何より「こんな勉強会はおか



自民党が設置した安全保障法制整備推進本部の初会合。村上氏は「憲法」と批判するが……東京都千代田区の同党本部で、3月31日、西本勝撮影

しい」と出席者から声が上がらないのが一番おかしかった。

ただ「私も村上先生と考えるのは同じ」とささやいてくる党内の議員は少なくないという。「そこに期待しているよ。声を上げにくい事情は分かる。若手や中堅は選挙区に十分な地盤がないし、カネだって昔は派閥に

村上元行革担当相 「決起促すつもり」

丹羽元厚相 「歴史の針戻す人いる」

頼れたが政治資金のハードルが上がって、今じゃ党執行部が握ってる。だけど良心を失ったら政治家はおしまいだろ。彼らに記事のコピーを配って『決起』を促すつもりさ」

それでも表面的には、村上氏ら一部だけが安倍首相や党執行部にかみついて

いことを言った方が迫力あるし、注目されるのでしょ。好戦的なものを求める雰囲気か国内の一部でありますから。最近、ある議員から「北朝鮮拉致被害者の救出のために自衛隊を出動させるのは個別の自衛権の範囲内」との「見解」を聞かされたあせんとした。

その玉沢氏、集団的自衛権の行使容認に異を唱え、靖国参拝や首相側近らの歴史認識も厳しく批判している。聞き、会いに行った。開口一番「俺はタカだ。タカだと言われているが、単純なタカじゃない」と嵐息が荒い。「憲法解釈は権力者が変えるべきものじゃない。そもそも成文憲法に書いてある以上のことをやるのは独裁国家と同じ」。玉沢氏は9条を改正して自衛隊の存在を明記し、そのうえで集団的自衛権を最低限だけ認めるべきだと立場。一見、安倍政権の方向

と聞いたら「俺は戦争を知っている。ここが違うんだ」と断言する。

玉沢氏には幼い頃ながらも戦争の記憶がある。地元・岩手の鉱山では強制動員された朝鮮人労働者が虐待を受けていたことを覚えていた。父親が戦死した級友も多い。

「かつて日本が外国で何をしたら、外国からどう返ってきたか、外国からどう目で見られているのか、戦争を知らない安倍首相周辺は分かっているのか。戦前を美化するような発言が首相周辺からボンボン出てくるように危なくて改憲

こんな話がある。昨年から今年にかけて、特定秘密保護法や集団的自衛権問題で危機感を強めた社民党前党首の福島瑞穂参院議員が宏池会(岸田派)など自民党内の議員を訪問して共同歩み「安倍路線」で共同歩みと呼びかけたが、誰もまともに取り合おうとはしなかったという。ある中堅議員は「本格的な共同歩みはあり

得ないとしても、福島さんの気持ちには分らんかなくもない。ただ、支持率の高い今の安倍首相を批判するのは難しい」と言葉少なだ。

その宏池会。戦後のある時期には最大派閥だったこともあった。その牙城は、今や衆参合わせて議員40人余りと最盛期の半分以下。タカ派とされる清和政研(村山派)が最大勢力を誇り、わが世の春を謳歌しているのと対照的だ。

意外にも「自民党きつてのタカ派」と目されたOBが安倍政権を危ぶんでいた。玉沢徳一郎元防衛庁長官(66)。安倍首相と同じ町

「自然界でもタカばかりが増えれば生態系は崩れる。ハトの少ない自然界はやっぱりおかしい。」

【記事より抜粋】